

白方地区 村政懇談会（Ⅱ部）

日 時：令和元年6月29日（土） 午前11時00分から正午まで
場 所：白方コミュニティセンター 2階会議室

出席者：村執行部（村長，副村長，教育長，企画総務部長，村民生活部長，福祉部長，産業部長，建設部長，教育部長，議会事務局長） 計10名

事務局（課長，課長補佐，係長，地域づくり推進課職員3名） 計6名

自治会長（白方区，豊岡区，岡区，百塚区，亀下区，原子力機構百塚，豊白区，村松北区） 計8名

参加者：白方区14名，豊岡区1名，岡区4名，百塚区8名，亀下区3名，原子力機構百塚区2名，豊白区6名，村松北区6名，その他19名 計63名

司会進行：原子力機構百塚区 自治会長 曳沼 裕一

総計87名

《次第》

Ⅱ部開会

1. 出席者紹介
2. 村長挨拶
3. 村執行部からの事業等紹介
4. 村に対する自由質問（一問一答形式）

Ⅱ部閉会

《記録》

【2. 村長挨拶】

I部に続いて，Ⅱ部の白方地区の村政懇談会にご出席いただき感謝申し上げます。I部ではグループ討論を行った。この後，皆さんの意見交換の時間が短くなってしまったので，簡単に資料説明をする。

道路整備について，今話題になっているものだけをまとめた。①が国道6号の拡幅で4車線化が決定した。国が主体となっているが，水戸にある常陸河川国道事務所が直接工事に入り，用地買収をする。用地の提供には，村でも協議会を作り，関連する自治会長にも入ってもらするなど，できるだけ地元でも協力いただきたい。工事を早く終わらせ，この4車線化を完成させたい。日立の茂宮橋のところも用地買収がなかなかうまくいかず，工事が進んでいない例がある。完成が10年先であると意味がないので，県とは5年後の完成を目標としている。白方地区の関係者で近辺の土地を持っている方がいたら協力してもらいたい。

②は国道245号の久慈大橋になる。日本原子力発電（株）前から三差路までは工事が進んでいるが，宿のところは少し工事が遅れている。しかしその部分も，令和2

白方地区 村政懇談会（Ⅱ部）

年度までには4車線化完成予定である。その先の橋が2車線では詰まってしまうので課題となっていたが、昨年度末に国の補助事業が決定し予算が付いた。3桁国道なので、橋の設計は県が事業主体となり、高萩の工事事務所が所管になるが、国道6号の4車線化が終わったと同時に、ここの橋も4車線化の完成になる予定である。

③は東海の南側の常陸那珂港から上がってきた水戸外環状道路になる。元々都市計画で決定していたものだが、国の補助事業費が付いたので、やっと整備工事が動きだした。真崎浦、須和間、船場を抜けて国道6号にぶつかる予定だ。これは県道で、6km程の区間になる。真崎浦を通っていて工事が大掛かりになるため、工事期間が長くなる予定である。

④は東海中学校の裏側の石橋向荒谷台線という村道になる。村が順次用地買収を進めている。用地買収が終了次第、勝木田下の内線にぶつかるところまでの歩道が整備される。

⑤は区画整理地内の勝木田下の内線である。神楽沢橋だけが完成していて、前後の道路の築造が完成していないが、令和2年度中には開通する予定だ。原研通りから駆け上がり線までの道路が開通すると、いろいろな交通渋滞が緩和されるだろう。

⑥の高野小松原線については、ひたちなか市が整備を進めており、今年度3月末に開通予定である。フローresta須和間の村道は完成していて、開通すると佐和地区側から東海南中学校前道路を通り、ヨークベニマル前に抜けられるようになる。渋滞も予想できるが、東海村の人はフローresta須和間を抜けてひたちなか市へ行っていたので、今後行きやすくなるし、ひたちなか市の人も東海村に来やすくなり利便性がある。

次に子育て支援に関して、5月に病児・病後児保育施設「るびなす」が東海病院の駅側にオープンした。利用するには事前登録が必要になり、利用料金は1日2,000円になる。小さな子どもを抱えている家庭に声かけをして、登録しておけば冬場インフルエンザが流行しているときに利用できる。

4月1日現在の東海村の待機児童は9名いる。すぐに保育所を造ることは難しいので、まずは保育士を確保するために、民間の施設に対しても同様であるが、復職支援や給与補助、家賃補助を今年度より新たに取り入れている。小規模保育ということで、0歳～2歳対象に20名弱の定員の民設民営の施設に対し補助金のみ用意をして、現在公募をしている。小・中学校・幼稚園にはエアコンを設置したので熱中症対策は安心することができた。

茨城国体については、9月29日から10月3日にかけて開催されるホッケー競技に、できるだけ多くの皆さんに応援・観戦をしてもらいたい。そのあと、10月12日から3日間ゆめ大会という障害者のスポーツ大会が開催される。こちらの応援・観戦にも是非行っていただきたい。また、国体が終了した後に、ホッケーが下火になってしまうのは避けたい。村では地域のクラブとして存続できるように考えている。

白方地区 村政懇談会（Ⅱ部）

（仮称）歴史と未来の交流館について、今回もパンフレットを配っているかと思う。皆さんに本当に造ってよかったと思ってもらえる施設にしていくのでご理解いただきたい。建設は今年度から始まり、開館は令和3年7月を予定している。その後中央公民館が解体されて、文化センター前が広くなり、駐車場としてだけではなくI～MOのまつりなどのイベントで利用しやすい場所になる。

4ページには原子力政策について書いてある。東海第二原子力発電所の動向については、住民説明会は済んでいる。現在は安全対策のための工事の事前準備段階である。今後工事は本格化してくるが、事業者には今回の説明会だけではなくて、いろんな形で住民への理解を求める活動を進めてほしいと話をしている。事業の展開が変われば、その都度説明をするように求めていきたい。

村では広域避難訓練を実施した。引き続き、広域避難計画の策定についての検証をしていきたいと思っている。なかなか住民の方と原子力をテーマとして意見交換することが難しい現状である。皆さんが原子力に対して、今の状況を理解し判断できるような場ができればよいと考えている。国、県でもいろいろ動いているが、そこに東海村も加わって、必要な意見を述べているのでその都度住民の皆さんに報告したい。日本原子力研究開発機構に関して、年明けにトラブル等の報告が東海村に上がってきている。改めて安全確保を最優先に事業を進めるよう指導している。研究施設の日本原子力研究開発機構も震災以降止まっている状態であるが、来月より順次再稼働する予定である。人材育成にも繋がるので、安全最優先でしっかりやってほしいと思っている。

【3. 村執行部からの事業等紹介】

副村長：私からは、昨年、健康増進法の一部が改正され、今年から随時施行されていく件について説明する。今回の健康増進法の改正だが、「望まない受動喫煙をなくす」、「受動喫煙による健康影響が大きい子ども、患者等に特に配慮する」という内容のもとで改正になっている。

資料にある第一種施設は基本的に施設内禁煙になる。学校、児童福祉施設、病院、診療所、行政機関の役場庁舎等が第一種施設に分類され、今年の7月1日から施行されることになる。第二種施設については、原則、屋内禁煙となり、来年4月1日から施行される。この法律の改正を受けての村の取り組みは、第一種施設になる役場庁舎、幼稚園・保育所、総合福祉センター絆、総合支援センターなごみ等は7月1日より、敷地内禁煙となる。敷地内禁煙なので、施設の駐車場に停めた車の中でたばこを吸うこともできないので、ご注意願いたい。また、第二種施設の各コミュニティセンター、図書館、総合体育館、文化センター等については、既に屋内禁煙になっている。現在は屋外で喫煙しているかと思うが、屋外の喫煙場所での受動喫煙を防ぐことが難しい。見えない場所では防火管理上も問題になる。少し厳しいかもしれないが、来年4月1

白方地区 村政懇談会（Ⅱ部）

日からは第一種施設と同様に敷地内禁煙とさせていただきます。対象となるたばこについては、東海村では、電子たばこも対象とする。ご理解、ご協力をお願いします。

教育長：まず始めに、地域の皆さんには子ども達の登下校等の安全確保のために、地域の見守り活動で毎日お世話になり、感謝申し上げます。Ⅰ部のワークショップにおいて、地域で子ども達を育てていこうという姿勢が見られて嬉しく思う。次に資料7ページの説明をする。「コミュニティ・スクール」ということで、子ども達の成長と格闘しながら、地域と学校がこれまで以上につながり合って、子ども達を育てていこうと考えている。地域の人も子ども達から元気をもらおうという学校づくりを目指している。キーワードとして、「子ども達の元気を地域へ、地域の生きた知識を子ども達へ」とし、どんどん地域に子ども達を出して行きたいと考えている。地域の行事や地域でどんな人達が地域づくり活動に頑張っているのか。子ども達が実際に知っていくことが、子ども達が地域に戻ってきたときに、社会貢献ができる人づくりにつながっていくと思う。例として、ふれあい食事会に白方小学校の子ども達に参加してもらい、一緒に食事をしたり、話をしたりすればお年寄りも元気になると思う。

Ⅰ部のワークショップで、高齢者が資源ごみの出し方に苦勞をしているとあった。現在、中学校では部活動の朝練を行っていない。そこで、高齢者が集積所まで持っていけないゴミを玄関先などに出してもらい、中学生が登校時にそのゴミを集積所まで運んであげるのはいかがでしょうかと考えている。

今年度、白方小学校では準備会を開催する。自治会、青少年村民育成会議白方支部、白方地区社協等の関係者が集まり、「どんな学校づくりをしていくか」について話し合うのでご協力をお願いします。

企画総務部長：資料5ページについて5点説明する。1点目、国体茨城代表の社会人ホッケーリーグ（第4節）で茨城HCの男子の試合が7月21日（日）13時から阿漕ヶ浦公園ホッケー場で開催される。ホッケー協会からの解説付きでの観戦会や地元歌手のミニライブも予定しているので、是非応援していただきたい。

2点目、村からの情報発信について、東海村公式スマートフォンアプリ「こちら東海村」は約2,800名の方に利用していただいている。東海村からの様々な情報を見ることができる。家族や知り合いの方に薦めてほしい。

3点目、参議院通常選挙及び東海村村議会議員一般選挙が予定されている。参議院通常選挙は、7月21日に行われることが決定された。投票に足を運んでほしい。東海村村議会議員一般選挙については、来年1月に予定されている。

4点目、ふるさと納税について、今年10月の受け入れを目指し、返礼品を伴う、ふるさと納税の準備を進めている。村外に住んでいる親戚・知り合いの方にお声をかけ、東海村に寄付をしていただけるようにご協力をお願いします。

5点目、農業センサスについては、来年2月1日を基準日として、農業に従事され

白方地区 村政懇談会（Ⅱ部）

ている方全てを対象とした統計調査が実施される。対象となる方はご協力をお願いします。

村民生活部長：私からは、3点説明する。1点目は、東海村広域避難計画について、6月24日の広域避難訓練が行われ、白方地区からは42名の方の参加があった。ご協力に感謝する。訓練の内容の検証については、これからになるが、予定していた訓練内容については滞りなく終了することができた。今回の訓練で初めて試みたこともあった。前回の訓練の改善点等も含め、今後の広域避難訓練をなお一層の向上に努めていきたい。今後ともよろしくをお願いします。

2点目は、資料11ページの説明になる。まず、白方コミュニティセンター内装改修工事について、工事期間は令和元年6月21日から令和2年2月28日までを予定している。コミセンを利便性と安全性の高い施設にしていきたい。工事の概要は、内装改修、多目的ホールの天井非構造部材耐震改修のほか、照明のLED化、トイレ改修を進めていきたい。当面はI期工事として7月の中旬頃から多目的ホール、2階会議室、トイレ等の工事を行う。その後の工事場所や期間については随時お知らせしていきたい。

3点目は、白方コミュニティセンター駐車場拡張整備調査測量設計業務委託についてで、今年度は設計業務になる。白方コミュニティセンター駐車場不足を解消するものである。ご協力をお願いします。

福祉部長：福祉部からは2点お知らせする。1点目、「プレミアム付商品券発行事業」について、広報とうかい6月25日号にも掲載しているが、10月に実施予定の消費税率引き上げに伴い、低所得者及び子育て世帯を対象に、プレミアム付商品券の発行・販売を行う。この事業は、国の主導により、全国一斉に行われるもので、商品券は対象者1人につき、20,000円で25,000円分まで購入することができる。子育て世帯の世帯主の方は、対象となる子どもの人数分の購入が可能となる。今後のスケジュールは、7月中旬に低所得者の方を対象に申請書を発送する。その後、郵送等で申請を受け付け、9月下旬に商品券引換券の発送を行う予定だ。なお、子育て世代の方には申請書ではなく、直接引換券の発送を行う。商品券の販売・利用は、10月から翌年2月までの予定になる。利用可能な店舗等については今後ホームページやチラシ等で知らせる。

2点目、「コンビニ交付サービスの導入」について、コンビニ交付サービスとは、役場が閉庁している早朝・深夜、土日・祝日でも住民票の写しや印鑑登録証明書等がマイナンバーカードを使用して、全国のコンビニで受け取れるサービスになる。ただ、このサービスを利用するためには、マイナンバーカードが必要になる。カードを持っていない方は、カード発行までに1ヶ月程かかってしまうのでご了承いただきたい。年内までにはコンビニ交付サービスを開始したいと考えている。操作方法等の詳細に

白方地区 村政懇談会（Ⅱ部）

については、広報とうかい等で周知していく予定だ。

産業部長：産業部は今年で2年目になり、商工業の振興・観光、その他農業関係と、産業関係を振興している部署になる。

資料14ページの農業関係の「とうかい育ち」農産物プレゼントキャンペーンについて説明する。昨年と同様のものになるが、昨年は12月末までだったものを、今年は年明けの1月末までとした。抽選についても、2回だったものを3回に増やし、当選本数も50本から60本に増やした。「にじのなか」と「イオン東海店」に置いている「とうかい育ち」のシールが貼ってあるものを購入し、応募していただきたい。

建設部長：資料15ページについて説明する。基盤整備として、①村道1284号線、岡十字路のセブンイレブン北側の遺跡調査が終了したので道路改良舗装工事を予定している。②生活道路舗装補修は傷んだ舗装の3路線の工事を予定している。③白方小あと地公園安全管理施設設置工事で立ち入り禁止防止柵の設置を予定している。④村道0103号線（岡十字路のセブンイレブンから亀下地区）の詳細設計業務をする予定。⑤村道1310号線では今年度は平板測量を実施した。排水対策検討をしていく。水道事業については、配水管老朽化の工事を予定している。

教育部長：2点お知らせがある。1点目は資料17ページについて説明する。国体の開会式・閉会式に伴い、9月28日（土）、10月8日（火）、10月12日（土）、10月14日（月・祝）の4日間に、これまでにない大量の車両が短時間に集中することが予想される。混雑予想ルートは資料の地図の太線のルートになっている。出来るだけ迂回のご協力をお願いします。

資料18ページには混雑時間帯を表にしたものがある。式典が行われる前後の時間帯は混雑が予想される。皆さんにお願いしたいことを2点記載しているが、特に笠松運動公園までの道路について、自動車の交通規制を行う予定があり、迂回をお願いすることになる。茨城県、警察と調整中で、公表は7月末を予定している。県から情報が入り次第周知する。当日は車の利用を控えて、シャトルバス等を利用して笠松へ足を運んでほしい。

2点目は資料23ページについて説明する。今年度もエンジョイ・サマースクールを開催する。81団体・185講座を予定している。実施期間は7月20日（土）から8月28日（水）まで、村内在住の小学生全学年（約2,400名）を対象とする。皆さんの参加をお願いします。

議会事務局長：資料24ページ、議会の現状を説明する。事業を実施している執行機関に対して、議会は議事機関として政策の最終決定を行うとともに、執行機関の運営を監視する二元代表制の役割を担っているところである。6月20日に閉会した議会では、20名の議員のうち、13名が一般質問を行った。執行部の考え、事業の進捗

白方地区 村政懇談会（Ⅱ部）

について確認したところであり、詳しくは、来月の「議会だより」をご覧ください。また、この議会の映像は、各コミセンの大型モニターにも配信している。傍聴者は議場74名、各コミセン関係111名、全部で185名であった。白方コミセンでは、20名の方がモニターで傍聴された。議員の任期満了が来年の1月31日になることから改選となり、20名の定数が2名削減の18名となる。資料には、議員の年齢別、期数別の表を記載している。

【4. 自由質問（一問一答形式）】

村松北区住民： 少子高齢化社会を迎えて、社会保障費の増加が見込まれることで、行政及び社協、地域団体などの業務の流れの見直しをしてほしい。行政費用の削減及び増加を調整しているのか。全体の流れの中で東海村ではコンダクターのような調整をする人はいないのか。

企画総務部長： 役場では現在、仕事の仕方改革と財政面で行政改革に取り組んでいる。国でも残業時間の削減に注力しており、東海村でも今年4月1日より残業時間の削減を励行している。RPA（AI）などの人間がやらなくて済むところは機械に任せる。ただし、人間がやるべきところは引き続き人間が皆さんに寄り添いながらやっていくなど、注意して進めているところ。もう少しすれば、省略化したことが、残業時間の縮減などにつながっていくことが見えてくるのではないかと思う。

村松北区住民： 行政側から社協や自治会に対して指示を出せないと思うので、コンダクターを設け、誰かがやらないと進まないのではないか。

企画総務部長： 各団体とのつながりは各団体でしっかりやってもらうところである。村では所属課があるので、皆さんのどういう要望があるのかを各部長がよく聞いて、反映していく。

百塚区住民： 高齢者の自動車運転免許返納について、今までの対応策に加えて考えている対策は何か教えてほしい。

企画総務部長： 現在はバスの利用を勧めている。デマンドタクシーの夕方の時間延長や、台数の増加を考えている。

今後、ふるさと納税が始まるので、返礼品の中で公共交通が使えるようなものもできれば考えていきたい。皆さんからのご要望を少しでも踏まえていきたいと思う。

村民生活部長： 高齢者の運転免許の自主返納の事業ということで、デマンドタクシーの利用券、茨城交通のIC利用券、商工会の共通金券交付という形で支援をしている。その他の支援も何かあれば考えていきたい。昨年度の支援状況は123件であり、返納者の平均年齢は80歳であった。

村長： まだ、他の部長に話してないが、事業者から「ライドシェア」という提案がきている。自分の車に他の人を乗せて移動するものである。ボランティアでやるならい

白方地区 村政懇談会（Ⅱ部）

いが、注意しないと白タク行為になってしまう。そのあたりを今、国土交通省で検討している。ライドシェアをどういう手法でやれるか。車はある，運転する人がいないという状況で，運転者には講習等を受けてもらい，純粋なボランティアではなくて一定の賃金を支払う。車は誰が運転しても保険はきちんとする。これを公共交通だけでやることは無理なので，地域の人にやってもらう。地域の70歳前半で，元気な人には運転する側で協力してもらい，一定額が支払われれば高齢者の生きがいにもつながると思う。今後役場で議論し，モデル地区などを作りながら，皆さんの協力のもと，そのような新しい取り組みが成り立つかどうかを考えたい。

白方地区住民：避難訓練について，高齢者になると避難弱者になってしまうのではないかと心配である。平成14年・15年頃は避難訓練を毎年やっていた。その当時，ひたちなか保健所の方と，高齢者には地域の医療機関とタイアップして，本当に避難させた方がよいのかの判断が必要だと話をした。避難中に病気になってしまった場合等の心配もある。避難するのであれば，どんなケアをすればよいかなどを地域の医療機関と提携し検討していくことが必要だと思う。また，体育館などの避難所に放射線を測る装置を置いてほしい。

村長：高齢者の状況に合わせた対応は大事である。高齢者も全員避難することが原則となっている。高齢者の健康状況によって，屋内待機がよいなどの判断もあると思う。民生委員の方が高齢者の健康面，かかり付けの病院からの助言などを把握するなど，現在研究中である。在宅の高齢者が避難する場所としては防護措置がある「絆」になる。対象者が何人いるのかなど，今後の対応などを含め，避難環境を考え，いろんな面で検討していきたい。

白方区住民：さくらんぼ学童について，夕方5時から6時頃の迎えの車が多い中，街灯が少なく暗くて危ない。道路と歩道に水たまりができ，冬になると凍って危ない状態であるので道路の整備の対応をお願いしたい。

建設部長：街灯及び木の状況の現場調査をする。

豊白区住民：白方街道の常磐線の踏切について，狭くて危ないので対策をお願いしたい。

建設部長：JRの線路が高いことから，見通しが悪く，安全面で危険と話がでている。都市整備課と話し合いをしており，すぐには無理だが，安全が第一であり，できることから改善していく方向で検討していきたい。

Ⅱ部閉会

以上